

CANコネクタ

福森聡哲、小阪正朋、大道武生(名城大学 大道研究室)



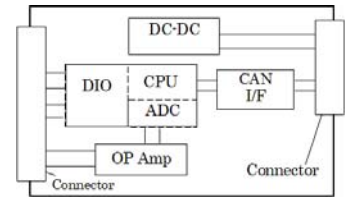
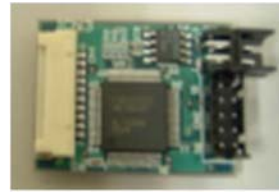
名城大学



概要:

CANコネクタは、機能をモジュール化することによって種々のセンサをCANネットワークに簡単に接続することができるコネクタである。また、CANを用いることによってPC等への接続を省配線化・分散制御を行うことができる。なお、対応モジュールはRTコンポーネントのI/O形式に準拠する。

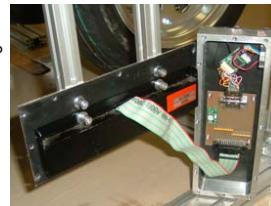
CANコネクタ(サイズ : 25×30×5mm)



特徴:

- ◆CAN通信。
- ◆外部装置との入力・出力の両方ができる。
- ◆CAN-ID、Address、Dataの3つだけで機能モジュールを操作する。

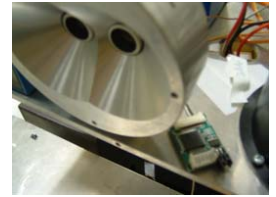
CANコネクタの使用例



磁気センサの平行入力



ロータリエンコーダのアップダウンカウント



超音波センサのアナログ入力

インタフェース: OS: Windows

- PCモジュール(ICN_PCと呼ぶ)の提供
(インターフェース社製CANカード)
(Microsoft Visual C++ 6.0)
- CANコネクタ機能モジュールの提供
(大道研究室製作CANコネクタ)
(Renesas HEW: High-performance Embedded Workshop Version 4.03.00.001)

ライセンス(公開条件):

著作権は名城大学大道研究室にあります。

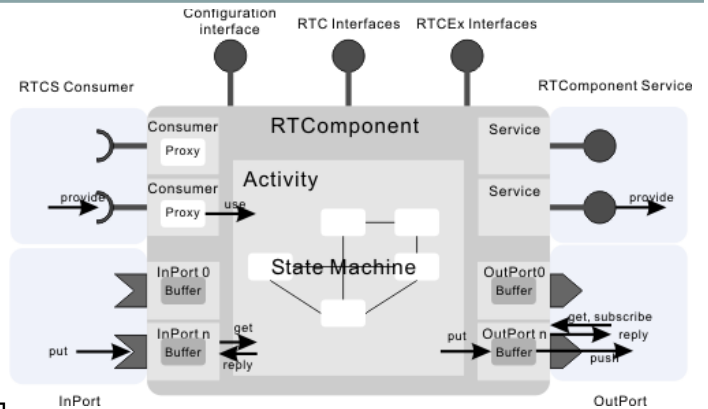
連絡先:

名城大学 大道研究室 福森 聡哲
 〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501
 TEL: 052-832-1151(内線5117) FAX: 052-832-1235
 e-mail: m0635024@ccmailg.meijo-u.ac.jp
 URL: <http://mech.meijo-u.ac.jp/prof/oomichi/zemi/index.html>



機能モジュール

- RT Component(ICN_PC)
 - ①CAN通信よりデータを送信する(put)
 - ②CAN通信より受信したデータの処理(解釈)を行いバッファに書き込む(push)
- RT Component(CANコネクタ)
 - ①CAN通信よりデータを受信する(get)
 - ②受信データを直ちに処理(解釈と実行)を行いCAN通信よりデータを返信する(reply)



コントローラ

